

## 学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成23年6月21日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

### 発 表 事 項

1. 文部科学省で山形大学に触れる3ヶ月
2. 「スマイルエンジン山形」東京便がスタート
3. 石造鳥居の被害から東日本大震災を読み解きます。
4. ことしも「男女共同参画フェスタ」
5. ♪オペラが教室にやってくる♪
6. ものづくりの経験を地域産業振興に活かしませんか？
7. かわにしの宝を発掘します。

### お 知 ら せ

1. 地域教育文化学部

『ふしぎ体験教室—どくとーる MIN の実験教室 おもしろ化学実験—』

2. Y-MOTネットワーク『要素技術セミナー』
3. 大学コンソーシアムやまがた『やまがた夜話』(7月分)
4. 理学部『小さな科学者・体験学習会』

(参 考)

- 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成23年7月5日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第一会議室(小白川キャンパス、事務局3階)

平成23年6月21日  
山形大学

## 文部科学省で山形大学に触れる3ヶ月

文部科学省「情報ひろば」展示室及びラウンジを活用して、世界の最先端を行く有機エレクトロニクスを中心とした山形大学の研究成果に触れていただきます。

展示テーマ：『地域に根ざし世界をめざす有機エレクトロニクス』  
～山形大学の挑戦 グリーンイノベーションを目指して～  
展示期間：平成23年7月～9月  
展示場所：文部科学省「情報ひろば」3階 展示室

今回の展示では、有機ELの城戸淳二卓越研究教授と有機トランジスタの時任静士卓越研究教授の研究成果を中心に、その研究開発の経緯と次世代技術としての可能性を展示します。

また、有機EL照明器具の製造販売会社「オーガニックライティング株式会社」の協力を得て、実用化された有機ELパネルと有機EL照明器具を多数展示します。

なお、「情報ひろば」1階ラウンジにおいては、山形大学の学生・教員による実験や試食など、楽しいプレゼンも予定しています。詳細につきましては、決まりしだいお知らせします。

文部科学省「情報ひろば」は、文部科学省の今と昔をテーマとした展示・イベント空間です。幅広い文部科学省の取り組みについて親しんでいただくことを目的として、教員研修や社会科見学・修学旅行の訪問先として、多くの方が来館しています。

また、「情報ひろば」がある旧文部省庁舎は霞ヶ関官庁街の震災復興建築の好例として登録有形文化財に登録されています。

(お問い合わせ)

山形大学総務部広報室

(TEL) 023-628-4005



平成23年6月21日  
山形大学

## 「スマイルエンジン山形」東京便がスタート

トウキョウベースを起点に東京発のボランティアツアーのエンジンが始動します。

東日本大震災復興支援のために、山形大学と東北芸術工科大学が始めた「スマイル・トレード10%」の活動を広げるため、「スマイルエンジン東京」をスタートします。

また、7月2日の「スマイルエンジン山形」には、立命館大学の学生達も参加します。山形大学と立命館大学との協定に基づいたコラボ企画として、夏季休暇中の8月に活動する立命館大学ボランティアチームのリーダーを養成します。

### ○東京発着のボランティアツアー「スマイルエンジン山形」東京便

すでに山形から定期運行している日帰りボランティアバス『スマイルエンジン山形』をベースとして、東京発着のボランティアツアーを開始します。

また、ツアーでは地域経済復興のため、上山温泉の宿泊施設を利用します。

日時：平成23年7月1日（金）～7月3日（日）

活動場所：宮城県石巻市、東松島市、多賀城市など

対象：両大学の卒業生、社会人学生及び一般の方

参加費：山形大・芸工大の学生・教職員 9,000円（宿泊費等実費）  
一般の方 25,000円前後を予定

### ○立命館大学の学生に「スマイル・トレード10%」の活動を紹介

『被災地とつながる～ドキュメント・スマイルエンジン山形の2か月～』

日時：平成23年6月24日（金）16:30～18:00

場所：立命館大学BKCカラーニング C105

報告者：山形大学エンrollment・マネジメント部 教授 平尾 清  
山形大学研究生 熊谷周三

（お問い合わせ）

エンrollment・マネジメント部 教授 平尾 清

TEL：023-628-4866

e-mail：goodhope@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成23年6月21日  
山形大学

## 石造鳥居の被害から東日本大震災を読み解きます。

山形盆地における石造鳥居の被害調査と、1964年新潟県下越沖地震（新潟地震）と比較検討することで、東北地方太平洋沖地震の特徴が明らかになりました。

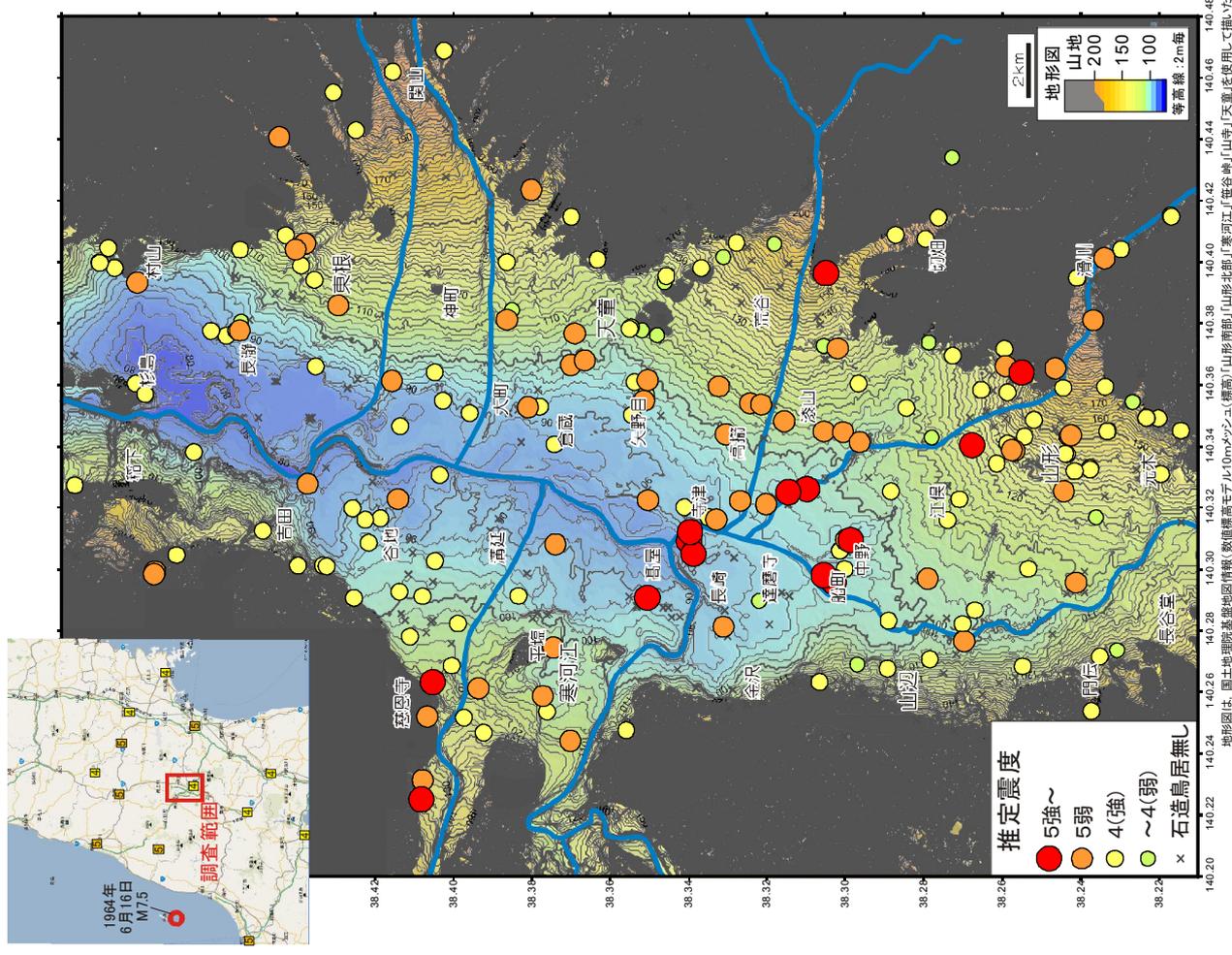
3月11日に発生したマグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震の後、山形盆地内に現存する約280の石造鳥居のうち、中央部以南の約150基の被害度の調査を行いました。また、昭和39年（1964年）新潟県下越沖地震（新潟地震）と比較検討することで、新たに山形盆地における東日本大震災の状況が明らかになりました。

- ①推定される震度は、盆地内では、概ね震度4であった。
- ②新潟地震の際には特に大きな被害度があった中山町域でも、被害度は小さかった。
- ③山形盆地内における強い揺れの方向は、おおむね北東-南西方向および北西-南東であった。
- ④新潟地震と東北地方太平洋沖地震の被害度の違いは、マグニチュード7.2及び9.0と地震の規模で数百倍違うにもかかわらず、揺れの周期の違いと、山形盆地に届くまでに地震波の減衰がおこったためと考えられる。
- ⑤奥羽脊梁山地の地下には、岩石の柔らかい部分が横たわっていることが知られている。この岩石の柔らかい部分が、地震波、特にS波を減衰させた可能性が高い。
- ⑥一方、日本海側で起こる地震では、途中にこのような岩石の柔らかい部分が無いので、そのまま地震波が到達するので、新潟地震で大きな被害が出たと考えられる。
- ⑦太平洋側でも、4月7日の余震のように、深さ66kmというような深い地震では、溶融体の下をくぐり抜けて、強い揺れが減衰せずに伝わり、被害が発生することもある。

今後、酒田沖の地震の空白域などで発生するであろう大規模地震の際には、山形盆地でも大規模な揺れが想定され、大規模な揺れを想定した防災意識と備えが必要です。

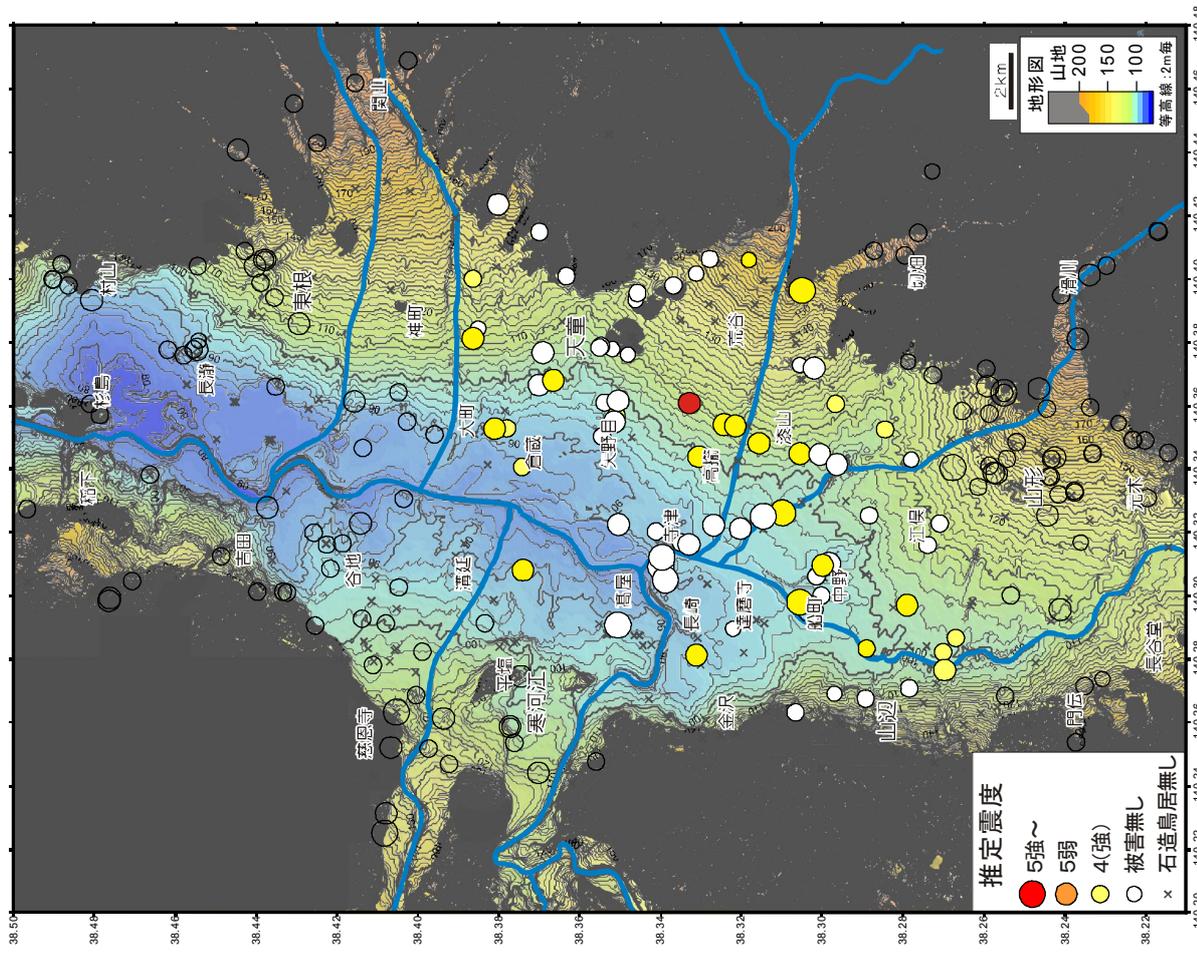
（お問い合わせ）  
地域教育文化学部生活総合学科 教授 川辺孝幸  
（TEL）023（628）4425  
kawabe@kescriv.kj.yamagata-u.ac.jp

石造鳥居の被害度から推定した1964年新潟地震の震度分布



被害度と計測震度との関係

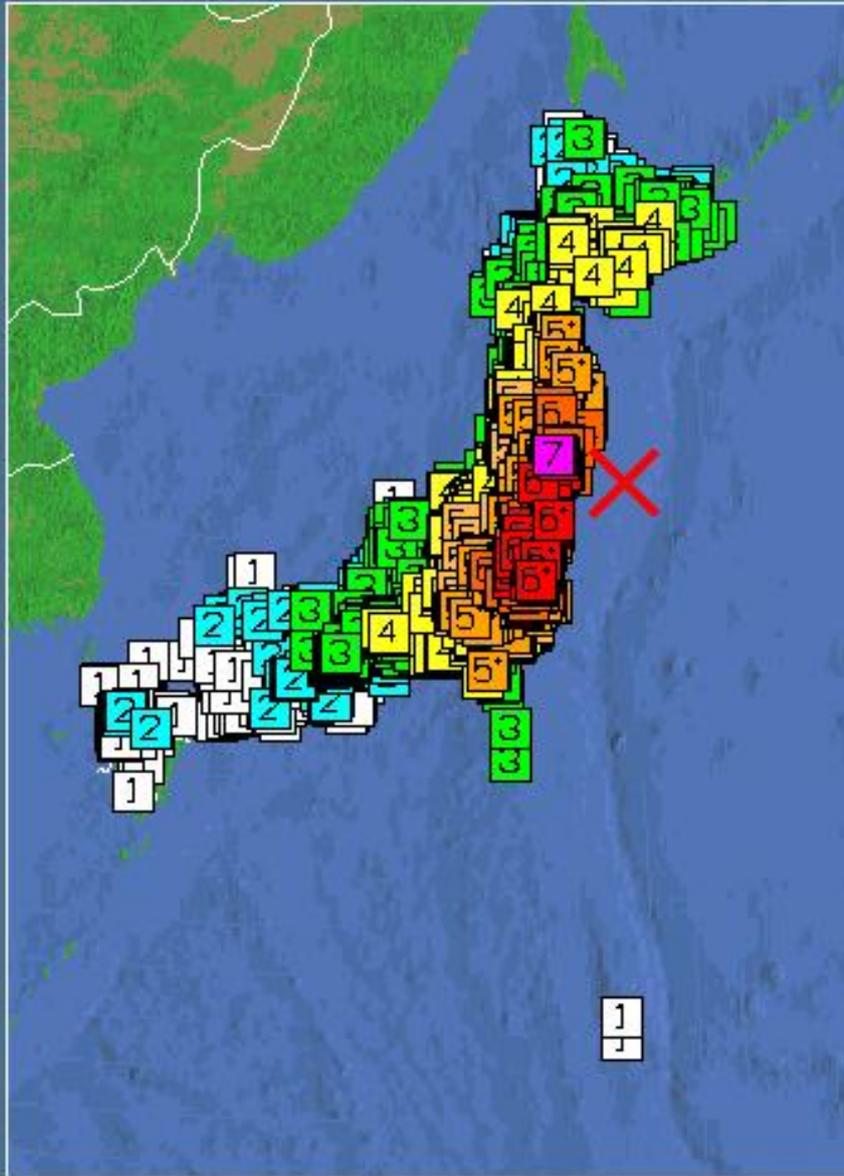
石造鳥居の被害度から推定した2011年東北地方太平洋沖地震の震度分布



2011年03月11日14時46分 三陸沖

500km

N= 2786



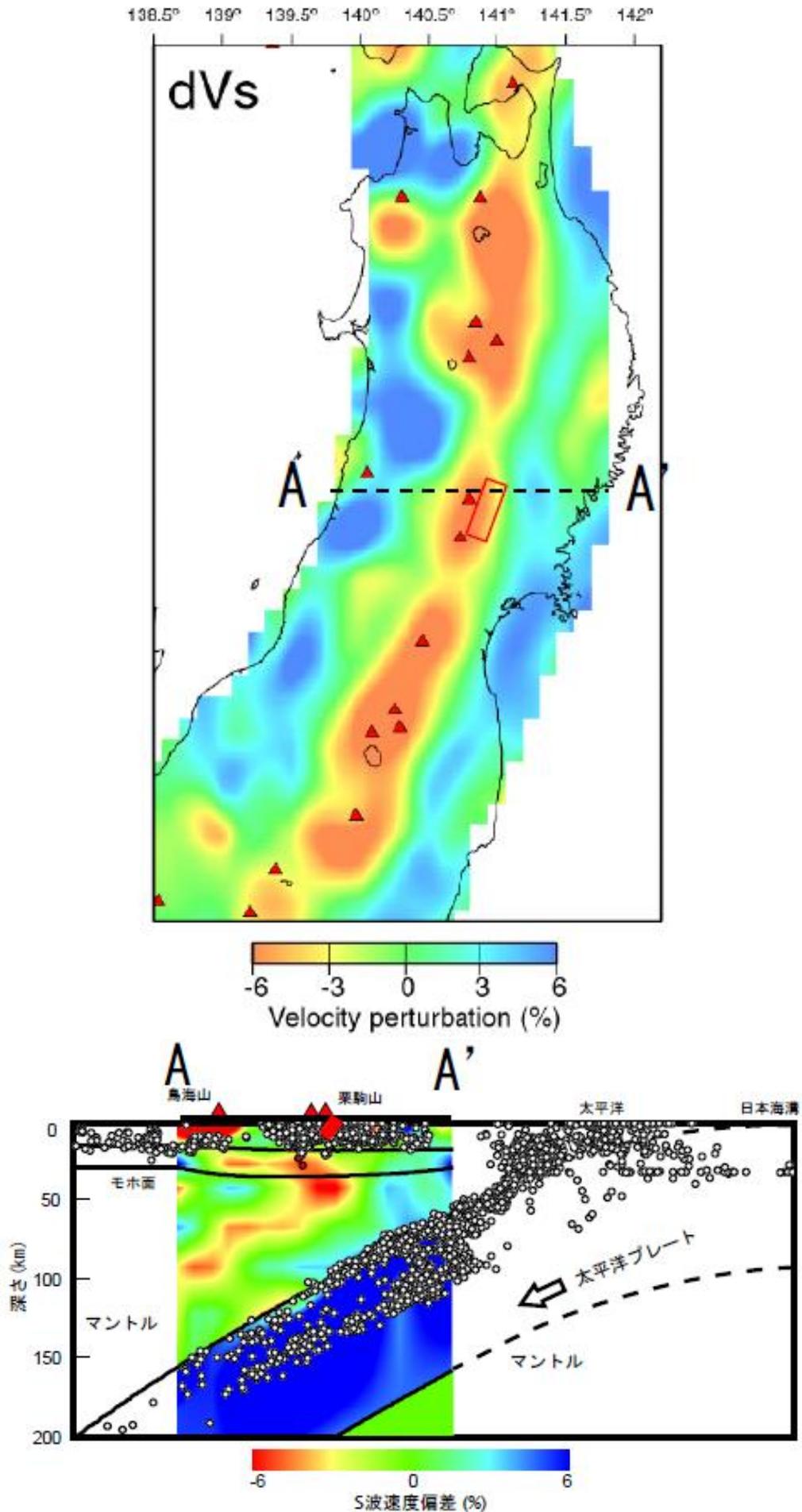
北緯38度06分 東経142度52分 深さ 24km M:9.0

[http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/shindo\\_db/db\\_map/201103/11/A201](http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/shindo_db/db_map/201103/11/A201)

10311144618120026038062100560142516600870237429590J84D5117002064\_map.html

### 気象庁による東北地方太平洋沖地震の震度分布

地震動などのエネルギーは、本来は距離の2乗に反比例して弱くなっていくために、深度分布も同心円状になるはずである。しかし、実際には、東北地方の太平洋沖で発生した地震の震度は、奥羽山地を境に、急に低い値になっている。

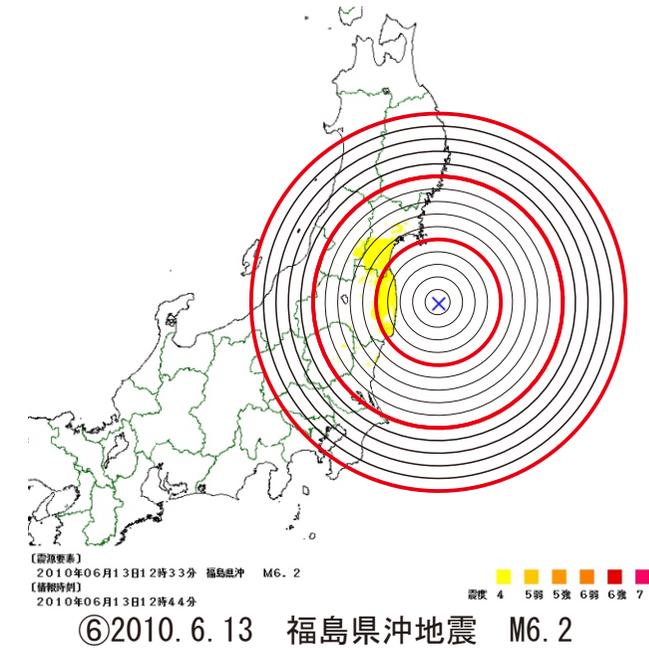
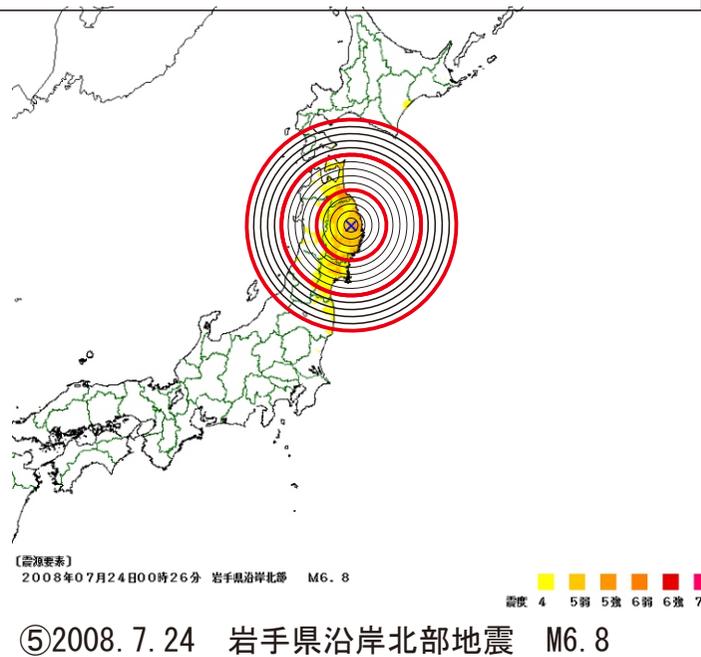
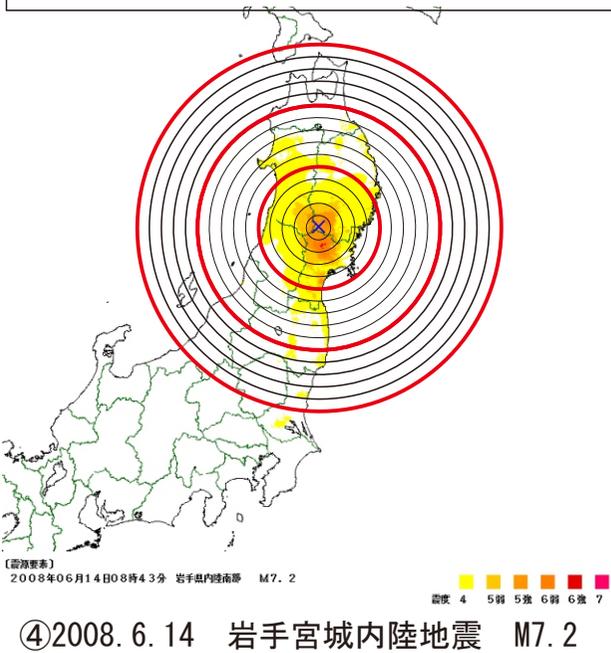
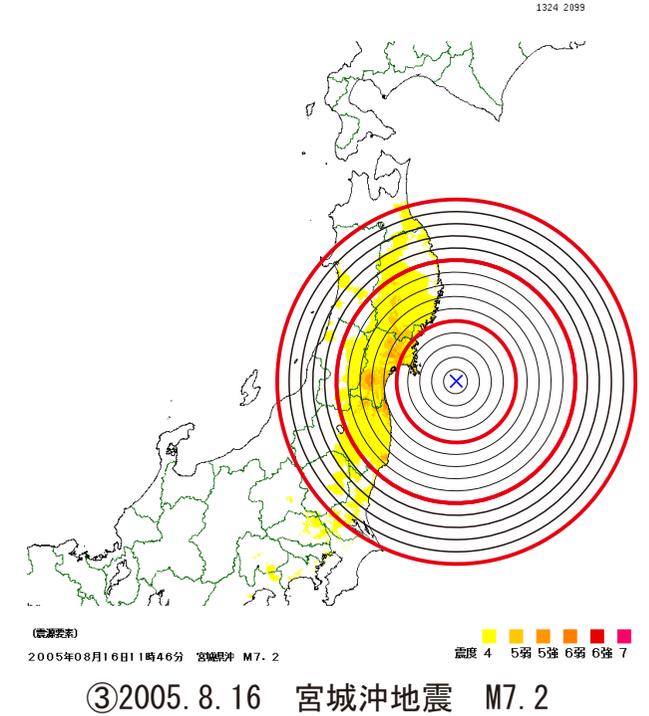
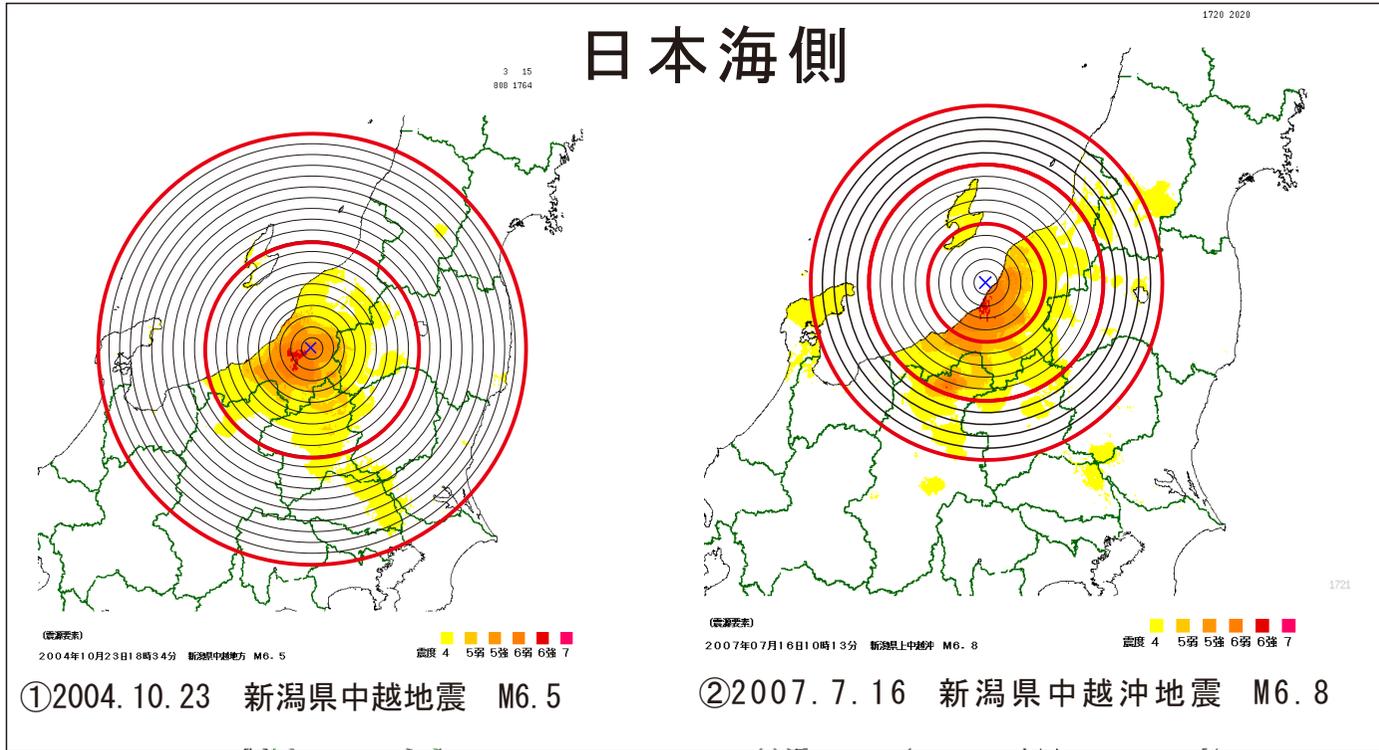


東北地方の地下の速度構造 (2008年岩手・宮城内陸地震緊急観測グループ, 2008)

赤い部分は速度の遅い部分で、岩石が柔らかい状態になっていると考えられている。

# 日本海側と太平洋側の地震の推計震度分布と震央距離

推計震度分布図は、気象庁HPIによる  
作成：佐々木 愛、大沼由佳、川辺孝幸



平成23年6月21日  
山形大学

## ことしも「男女共同参画フェスタ」

学生と教職員が性別にかかわらず、個性と能力を発揮できる  
大学を実現します。

内閣府男女共同参画推進本部では、毎年6月23日から29日までの1週間「男女共同参画週間」を実施しています。

それに合わせ、今年も6月21日（火）から7月19日（火）まで「山形大学男女共同参画フェスタ」を開催します。

### ○特別講座『上手な自己表現 コミュニケーションセミナー』

～自分も相手も 大事にする それがアサーティブ～

日 時：平成23年6月30日（木）15：00～17：00

会 場：山形大学事務局3階 第1会議室（山形市：小白川キャンパス）

対 象：一般・学生・教職員、どなたでも。50名程度。参加無料。

### ○パネル展示『山形大学～ワークライフバランス実現への取り組み～』

『女性差別撤廃条約』

日 時：平成23年6月21日（火）～30日（木）（平日のみ）

10：00～16：30

会 場：山形大学インフォメーションセンター（小白川キャンパス）

### ○関連図書特別展示

専用コーナーを設置し、国立女性教育会館所蔵の「男女共同参画」「生き方」「コミュニケーション」等をテーマとした約200冊の書籍を特別展示します。

日 時：平成23年6月21日（火）～7月19日（火）

会 場：山形大学小白川図書館（小白川キャンパス）

（お問い合わせ）

山形大学男女共同参画推進室

（TEL）023-628-4937

# 男女共同参画フェスタ

## 6月21日～7月19日

**パネル展示** \*パネル展示は6/21（火）～30（木）まで開催しています。

（山形大学インフォメーションセンター・理学部1号館東側）

「山形大学

～ワークライフバランス実現への取り組み～」

「女性差別撤廃条約」

### 関連図書特別展示

（山形大学小白川図書館）

国立女性教育会館所蔵の「男女共同参画」「生き方」「コミュニケーション」等をテーマとした約200冊の書籍を専用コーナーに特別展示します。  
（学内のみ貸出可）

### 特別講座

## 上手な自己表現 コミュニケーションセミナー

講師 森田汐生氏（NPO法人アサーティブジャパン代表理事）

「自分も相手も 大事にする  
それがアサーティブ」

6月30日（木）15:00～17:00

会場：事務局棟3F 第1会議室

対象：学生・教職員・一般 50名程度

\*申込み多数の場合は抽選になります。

\*医・工・農はテレビ配信

医：基礎棟2階視聴覚教室

工：教授会室

農：401講義室

要申込

参加無料

お問い合わせ・申込先

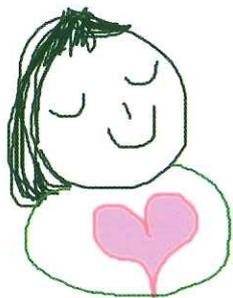
山形大学男女共同参画推進室

電話：023-628-4937 / 4938 / 4939

E-mail：danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

たくさんの方のご来場をお待ちしています。

# 上手な自己表現 コミュニケーションセミナー



自分も 相手も  
大事にする  
それがアサーティブ

とき 平成23年 **参加無料** ※要申込  
**6月30日** (木) 15:00~17:00

ところ **事務局棟3F 第1会議室** (医・工・農はテレビ配信あり)  
◎対象：学生・教職員・一般 50名程度  
申込み多数の場合は抽選にさせていただきます。

## アサーティブってなあに？

「アサーティブネス (Assertiveness)」とは・・・

「自己主張すること」。

しかし、アサーティブであることは、自分の意見を押し通すことではありません。自分の要求や意見を、相手の権利を侵害することなく、誠実に、率直に、対等に表現することを意味します。

このセミナーが大切にしていることは・・・

- 一人ひとりが自分を大切と思えること
- 自分の権利も相手の権利も尊重できること
- 多様な価値観の人と対等な関係を築けること

さあ！あなたも、自分の意見を (特定非営利法人アサーティブジャパン代表理事)  
アサーティブに伝えてみませんか？



講師 **森田汐生氏**

お問い合わせ・申込先

山形大学男女共同参画推進室

電話:023-628-4937/4938/4939

E-mail:danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成23年6月21日  
山形大学

## ♪オペラが教室にやってくる♪

新しい基盤教育で、新しい試み！  
基盤教育の授業でオペラミニコンサート♪  
総合大学ならではの取り組みです。

山形大学では、人間として、より良く、より力強く生きる力。「人間力」を育成することを教育目標として、2010年度入学生からこれまでの「教養教育」に代えて新しい教育カリキュラム「基盤教育」を導入しています。

その基盤教育の教養科目として、『オペラの芸術性とその魅力』を開講しています。今回は、「オペラは堅苦しい、敷居が高い」などの先入観を払拭するため、またDVDなどの視聴からでは得られない“生のオペラの魅力”を体感するために、初めての試みとして授業の中で「オペラミニコンサート」を開催します。演奏は、大学院地域教育文化研究科文化創造専攻音楽芸術分野の学生が担当します。

日時：平成23年6月30日（木）3・4校時（10：30～）

教室：基盤教育1号館115教室

対象：履修生以外の方も自由に聴講できます。是非、ご来場ください。

総合舞台芸術としてのオペラは、その様式が確立した1600年頃から様々な改革により変貌を遂げてきました。この授業では改革により高まってきた芸術性に注目し、具体的な例を挙げて解説します。

また、オペラは、地域、社会背景、市民階層と密接に結びついています。特にヨーロッパにおけるオペラは19世紀という特定した時代に隆盛を極め、その後衰退していきました。この授業ではその謎をも明らかにしていきます。

（お問い合わせ）

山形大学地域教育文化学部

文化創造学科音楽芸術コース教授 藤野祐一

（TEL）023-628-4300

# 基盤教育「オペラの芸術性とその魅力」

(藤野祐一教授担当)

大学院 文化創造専攻

音楽芸術分野学生による

## ♪ オペラミニコンサート ♪

～ プログラム ～

R.Leoncavallo	歌劇『道化師』より「プロローグ」
W.A.Mozart	歌劇『フィガロの結婚』より「もう飛ぶまい、この蝶々」 「恋とはどんなものかしら」
	歌劇『ドン・ジョヴァンニ』より二重唱「手を取り合って」
G.Puccini	歌劇『蝶々夫人』より「花の二重唱」
G.Bizet	歌劇『カルメン』より三重唱「ジプシーの歌」
G.Verdi	歌劇『リゴレット』より四重唱

～ 出演 ～

塩野 綾子(院1)	Soprano	中嶋 達郎(2)	Pianoforte
太田 麻水(院2)	Mezzo Sorano	斎藤 祐丞(2)	Pianoforte
近藤 菜摘(院1)	Mezzo Soprano	畑中 絵里奈(2)	Pianoforte
畠山 美穂(院1)	Mezzo Soprano	太田 千聖(2)	Pianoforte
江頭 隼 (賛助)	Tenor		
奈良 陽平(院2)	Baritone		
鈴木 真修(院2)	Baritone		

**2011年6月30日(木)**

**3・4校時(10:30～)**

**115教室**

履修生以外の方も自由に聴講できます。ぜひご来場ください。

平成23年6月21日  
山形大学

## ものづくりの経験を地域産業振興に活かしませんか？

山形大学大学院MOTや東京大学ものづくり経営研究センターのノウハウを集結して、地域のものづくり企業の現場改善等の指導者としての「シニアインストラクター」を養成します。

山形大学国際事業化研究センターでは、地域のものづくり企業において、経営力・技術力・競争力を向上させるため、山形大学MOT、東京大学ものづくり経営研究センターのノウハウを活用し、企業の現場改善や人材育成等に必要な知識、技術等を学び、地域ものづくり企業において現場指導できるインストラクターを養成します。

○研修期間

平成23年8月1日（月）～平成23年11月1日（火）

○研修時間

5時間程度／1日（毎週火曜日を予定。詳細は講義スケジュールのとおり。）

○研修会場

山形大学工学部（米沢市城南4-3-16）（予定）

○対象者

①ものづくり中小企業の現場リーダー又は幹部候補

②工場等の現場経験豊富なOB人材等

上記に該当する者で、以下の要件を満たす者

①生産・品質管理、生産技術などで概ね10年程度の従事経験がある者

②インストラクターとして、現場改善などの指導活動が可能であること

○定員

20名程度

○受講料

無料

（お問い合わせ）

山形大学国際事業化研究センター（阿部、佐藤）

（TEL）0238-26-3483

**地域ものづくり  
シニアインストラクター養成スクール  
第1期受講生募集案内**

**その経験を地域産業振興  
に活かしてみませんか？**

**募集期間**

**平成23年6月13日(月)**

**～平成23年7月13日(水)**

**山形大学**

## 地域ものづくりシニアインストラクター養成スクールとは…

山形大学大学院MOTコースや東京大学ものづくり経営研究センター(MMRC)のノウハウを集結した指導者養成のためのカリキュラムを受講することで、地域ものづくり企業の現場改善等の指導者として活躍出来る「インストラクター」を養成します。

あわせて、養成したインストラクターが地域中小企業の現場改善指導等を行い、幅広く活躍出来る仕組みづくりを行っていく予定です。



## ○事業の特徴

### point 1 効果的なカリキュラム

企業の現場改善等に必要な知識等を習得し、開発設計から製造・物流までの流れ全体を俯瞰できる専門家を養成します。

### point 2 経験豊富な講師陣

指導経験豊富な山形大学MOT、東京大学MMRC、地域産業界の有識者等の講師陣が担当します。

### point 3 継続的なフォローアップ体制

継続的にインストラクター同士の情報交換、ノウハウを共有し、地域企業のレベルアップに向けインストラクターが活躍出来る仕組みを構築する予定です。

## ○事業のイメージ

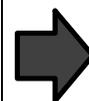
### ◆地域ものづくりシニアインストラクター養成スクール

#### カリキュラム

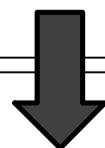
ものづくり経営学の基礎・応用、指導方法等の講義

グループワーク・ディスカッション

現場改善実習、改善提案発表

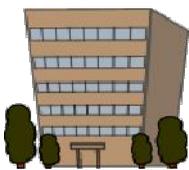


インストラクターの養成



### ◆養成スクール修了後

地域中小企業



企業力の向上

派遣要請、相談

指導チーム派遣、  
情報発信等

「場」の創出  
インストラクター等  
の人材のプール

現役の方にあつては所属先に  
戻って現場改善活動等に従事

※養成したインストラクターが地域で活躍出来る仕組みを今後検討していきます。

# 南東北・地域ものづくりシニアインストラクター養成スクール開催要領

## <目 的>

地域のものづくり中小企業において、企業の経営力・技術力・競争力を向上させるため、山形大学MOT、東京大学ものづくり経営研究センター（MMRC）のノウハウを活用し、企業の現場改善や人材育成等に必要な知識、技術等を学び、地域中小企業等において現場指導できるインストラクターを養成する。

## <主 催>

山形大学国際事業化研究センター

## <開催内容>

### ◆研修期間

平成23年8月1日（月）～平成23年11月1日（火）

### ◆研修時間

5時間程度／1日（毎週火曜日を予定。詳細は講義スケジュールのとおり。）

### ◆研修会場

山形大学工学部（米沢市城南4-3-16）（予定）

### ◆対象者

本事業の対象者は下記の「応募資格」及び「応募要件」を満たす者とします。

◇応募資格 以下のいずれかに該当する者

- ①ものづくり中小企業の現場リーダー又は幹部候補
- ②工場等の現場経験豊富なOB人材等
- ③その他主催者が特に受講を認める者

◇応募要件 以下の要件を全て満たす者

- ①研修の8割以上に出席できる者
- ②生産管理、品質管理、生産技術などの部門に概ね10年程度の従事経験がある者
- ③養成スクール修了後、インストラクターとして、所属企業や地域企業への現場改善などの指導活動が可能であること

### ◆定 員

20名程度

### ◆受講料

無 料

## <カリキュラム>

### ◆生産システム研修

	講義項目	研修内容
1	ものづくりの基礎概念	ものづくり現場の生産管理・技術管理の体系を総合的に把握し、各分野の位置付けを理解する。
2	競争力と企業パフォーマンス	ものづくり現場の組織能力、競争力、収益性など、企業の実力を測定する諸指標と測定方法、それらの相互関係などを相対的に理解する。
3	コストと生産性	原価管理・原価改善の概念と目的を把握し、さらに生産性の定義・管理アプローチを改善方法を理解する。
4	納期・工程管理・フレキシビリティ	各工程における工程設計、在庫管理などの基礎概念を理解し、問題発見のポイント、目の付け所、改善指導の進め方などを体系的に理解するとともに、QCDに加え第4の競争力要素として必須であるフレキシビリティの概念、構成要素の理解を通じて、ものづくりにおける全体最適化についての理解を深める。
5	製品開発プロセス	技術・設計・開発部門における新製品開発管理の基礎概念を体系的に理解する。
6	製品開発と総合商品力	イノベーションと総合商品力との関係を体系的に把握し、総合商品力を高める開発組織のあり方、総合商品力改善のための様々な方策を理解する。
7	ものづくりとITシステム	ものづくり現場全般におけるITシステムの導入について、その有用性や注意点などを理解する。
8	「見える化」を超える現場のIT活用	ものづくり現場のグローバル化や分散が進む中、それぞれの現場を総合的に「見える化」するために、ITを活用した手法や基礎概念を理解する。
9	生産マネジメント	現場改善における、経営者ともものづくり現場との関係において指摘される各種問題に対し、総合的かつ論理的に解決するマネジメントの仕組みづくりを習得する。
10	生産革新概論	トヨタ方式による生産管理について学習し、計画、品質管理、工程管理、信頼性、開発、問題解決、論理的思考方法等に関した生産システム全般について理解を深める。
11	ものづくり現場見学	地域企業のものづくり現場において、改善の取り組み事例を学ぶ。
12	生産革新 (現場改善実習)	受入先企業の現場において、業務を理解し、現場診断を実施。課題を抽出し、解決に向けて実効性のある対策を検討する。
13	生産革新 (グループ討議)	実習受入先企業のものづくり現場における改善の提案書を作成。プレゼンテーションの準備を行う。
14	生産革新 (成果発表)	現場改善実習の成果と反省点についてグループ発表を行い、受講生間で知見を共有する。

### ◆品質管理研修

1	品質管理の基本	ものづくりの各工程における品質測定・品質管理などの基礎概念を理解し、問題発見のポイントについて理解する。
2	これからの品質管理	これからのものづくり産業における品質管理システムについて重要な視点、具体的な進め方などを体系的に理解する。

### ◆管理会計研修

1	ものづくりに必要な管理会計	ものづくり現場の生産性向上等改善成果を評価することができる、技術者のための基本的管理会計を学ぶ。
2	標準原価会計	ものづくり現場における投入資源の利用能率を高めて行く原価管理を習得するため、標準原価についての基本的知識を学ぶ。
3	これからの管理会計	グローバル化する中で、これからの技術者としての管理会計の考え方を習得する。

### ◆人材育成研修

1	これからのものづくり人材像	ものづくり現場の人材の理想像、人材育成方針や方法などを学ぶ。
2	コンサルティング研修	ものづくりインストラクターとしてのコミュニケーションを中心とした基本動作・心得、コンサルティングの基礎知識を習得する。

### <講義スケジュール>

実施日	講義内容			
	AM (10:00~12:30)		PM (13:15~15:45)	
8月 1日 (月)			開校式 (13:30~)	開校式、基調講演
8月 2日 (火)	生産システム①	ものづくりの基礎概念	生産システム②	競争力と企業パフォーマンス
8月 9日 (火)	生産システム③	コストと生産性	管理会計①	ものづくりに必要な管理会計
8月23日 (火)	生産システム④	納期・工程管理・フレキシビリティ	管理会計②	標準原価会計
8月30日 (火)	生産システム⑤	製品開発プロセス	管理会計③	これからの管理会計
9月 6日 (火)	生産システム⑥	製品開発と総合商品力	品質管理①	品質管理の基本
9月13日 (火)	生産システム⑦	ものづくりとITシステム	品質管理②	これからの品質管理
9月20日 (火)	生産システム⑧	「見える化」を超える現場のIT活用①	生産システム⑨	「見える化」を超える現場のIT活用②
9月27日 (火)	人材育成①	これからのものづくり人材像	生産システム⑩	生産マネジメント
10月 4日 (火)	人材育成②	コンサルティング研修①	人材育成③	コンサルティング研修②
10月11日 (火)	生産システム⑪	生産革新概論	生産システム⑫	ものづくり現場見学
10月18日 (火)	生産システム⑬	生産革新 (現場改善実習①)	生産システム⑭	生産革新 (現場改善実習②)
10月25日 (火)	生産システム⑮	生産革新 (現場改善実習③)	生産システム⑯	生産革新 (グループ討議)
11月 1日 (火)	生産システム⑰	生産革新 (成果発表)	修了式	

※講義順序、内容が変更になることがあります。

## <申 込>

### ◆申込期限

平成23年7月13日（水）必着

### ◆申込方法

所定の申込書に必要事項を記入の上、事務局まで郵送もしくは持参でお申し込みください。（書類選考により、受講者を決定させていただきます。）

## <事務局:お申込・お問合せ先>

山形大学国際事業化研究センター（阿部、佐藤）

〒992-8510 山形県米沢市城南4-3-16

TEL：0238-26-3483

FAX：0238-26-3409

E-mail：mono-info@yz.yamagata-u.ac.jp

H P：http://www.big-i.yamagata-u.ac.jp/document/2011/mono-info/mono-info-index.html

※本事業は全国中小企業団体中央会の「平成22年度ものづくり指導者養成支援事業」により実施するものです。

平成23年6月21日  
山形大学

## かわにしの宝を発掘します。

山形の大学生達が「かわにしの宝 活かし隊」と一緒に川西町の活性化に取り組みます。

「大学コンソーシアムやまがた」では、川西町が地域や学生等との交流促進を目的に設置した「やまがた里の暮らし推進機構」からの委託事業として、山形大学、東北芸術工科大学、東北文教大学、山形県立女子短期大学の学生・教職員によるチームを結成し、川西町の地域資源の・利活用やダリアの活用提言により、川西町の地域活性化に取り組みます。

これは、「大学コンソーシアムやまがた」として、初めての自治体からの委託事業です。

川西町には、身近にあり過ぎて見過ごされている地域資源が少なくありません。これらを「かわにしの宝 活かし隊」と共に発掘していきます。

発掘を通して、地域の皆さまと学生が交流することで地域とのコミュニケーションを図り地域理解を深めます。

また、全国有数の「川西ダリヤ園」やダリアの新たな活用方法についての提言も行います。

学生達は、フィールドワークを通して次のような活動を行います。

- ①川西町において、これまでに行われた地域資源調査のデータを把握。
- ②観光資源・地域資源を発掘。
- ③それらの活かし方を「かわにしの宝 活かし隊」とワークショップ。
- ④川西ダリヤ園来場者への現況調査。
- ⑤ダリアの商品開発とプロモーションを提言。

※大学コンソーシアムやまがた：

平成16年4月に設立された、山形県内の大学・短期大学・高等専門学校・放送大学等の教育機関と山形県の連合組織です。山形県内の高等教育の充実・発展を図るとともに、各大学の知的資源を有効に活用して地域社会に貢献することを目的としています。

(お問い合わせ)  
山形大学渉外部大学連携推進室  
大学コンソーシアムやまがた事務局  
(TEL) 023-628-4842

# プレス通知資料（概要）

平成23年6月21日  
山形大学

## 1. 地域教育文化学部『ふしぎ体験教室—どくとーるMINの実験教室 おもしろ化学実験—』 (概要) 様々な楽しい化学実験を通して、理科(化学)のおもしろさを体験します。

実験は参加者が行うものと、先生がお見せするもの(化学マジックショー)があります。保護者の皆さんの見学・参加を歓迎します。

日時:平成23年7月2日(土) 13:00~15:30

場所:山形県産業科学館4階発明工房(山形市城南町 霞城セントラル内低層棟)

講師:地域教育文化学部地域教育学科 教授 石井 実

対象:小・中学生 先着30名(小学2年生以下は保護者同伴)

持ち物:筆記用具

問い合わせ:山形県産業科学館

(TEL)023-647-0771

## 2. Y-MOTネットワーク『要素技術セミナー』

(概要) 金属と樹脂を強固に接合する一体成形技術で軽量化・低価格化を実現、携帯電話から自動車部品まで幅広い応用製品を生み出す！大成プラスの技術紹介とパートナー探し。

日時:平成23年7月13日(水) 15:00~16:30

場所:山形大学工学部100周年記念会館セミナーホール(米沢市:工学部キャンパス)

定員:50名 参加費:無料

講演内容:

大成プラス株式会社 社長 成富 正憲 氏

「ものの造り方をつくる」

社員40名で年商30億円、社内増設は控え、技術のある会社と連携。

産総研の解析で分子サイズの接合証明、NEDOの助成金で技術確立。

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:山形大学街中サテライト内 Y-MOTネットワーク事務局 渡邊 毅

(TEL)0238-40-0761

### 3. 大学コンソーシアムやまがた『やまがた夜話』

(概要)『山形の魅力再発見 新山形学～歴史編～』をテーマに、山形の夏を盛り上げます。

#### 【第1夜】

日 時:平成23年7月13日(水) 18:30～19:30

『最上義光と“北の関ヶ原”－出羽合戦－』

伊藤 清郎(山形大学地域教育文化学部・教授)

#### 【第2夜】

日 時:平成23年7月20日(水) 18:30～19:30

『変わりつつある庄内地域史研究～ワッパ騒動と山居倉庫～』

三原 容子 氏(東北公益文科大学公益学部・教授)

#### 【第3夜】

日 時:平成23年7月27日(水) 18:30～19:30

『村山地方を中心とした特色ある民俗文化～主に庄内地方との比較をつうじて～』

菊地 和博 氏(東北文教大学短期大学部総合文化学科長・教授)

#### 【第4夜】

日 時:平成23年8月3日(水) 18:30～19:30

『置賜地方の紀行文芸「中仙道中旅寝の夢」を読む

～幕末米沢藩士が見た中仙道』

小林 文雄 氏(米沢女子短期大学日本史学科・准教授)

場 所:ゆうキャンパス・ステーション(山形市:山形むらきさわビル1階)

対 象:高校生・学生・一般市民 50名

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:大学コンソーシアムやまがた事務局

(TEL)023-628-4842

#### 4. 理学部『小さな科学者・体験学習会』

(概要) 小さな科学者・体験学習会は、演示実験や簡単な体験型の実験を通して、子ども達に科学のおもしろさ・楽しさに触れてもらおうと企画したものです。

夏休みに親子で楽しくサイエンスに触れてみませんか？

##### 【光の不思議】

日 時:平成23年7月24日(日) 13:30～15:30

場 所:山形県産業科学館4階発明工房(山形市城南町 霞城セントラル内低層棟)

対 象:小学4年生～中学生 20名 およびその保護者

参加費:無料

##### 【親子で体験！バイオロジー9】

日 時:平成23年7月31日(日) 13:00～16:00

場 所:山形大学SCITAセンター(山形市:小白川キャンパス)

対 象:小学5年生～中学生 20名 およびその保護者

参加費:無料

##### 【わくわく化学実験ランド】

日 時:平成23年8月6日(土) 10:00～12:00

場 所:山形大学SCITAセンター(山形市:小白川キャンパス)

対 象:小学4年生以上とその保護者 親子10組

参加費:無料

##### 【七夕に望遠鏡を作って月を観よう】

日 時:平成23年8月6日(土) 18:00～20:30

場 所:山形県産業科学館4階発明工房(山形市城南町 霞城セントラル内低層棟)

対 象:小学4年生～中学生 20名 およびその保護者

参加費:500円

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:山形大学小白川キャンパス理学部事務室

(TEL)023-628-4505

5. これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので開催がせまっているイベント  
当日の取材をよろしく願いいたします。

○大学コンソーシアムやまがた『進学相談会』

日 時:別添の資料のとおり

場 所:ゆうキャンパス・ステーション(山形市:山形むらきさわビル1階)

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:大学コンソーシアムやまがた事務局

(TEL)023-628-4842

○大学コンソーシアムやまがた『やまがた夜話』

【第3夜】

日 時:平成23年6月22日(水) 18:30~19:30

『女性の視点からみた、元気なまちづくり』

早野 由美恵 氏(東北芸術工科大学プロダクトデザイン学科 准教授)

【第4夜】

日 時:平成23年6月29日(水) 18:30~19:30

『紅花から元気な山形を』(仮題)

平松 緑 氏(東北公益文科大学公益学科 教授)

場 所:ゆうキャンパス・ステーション(山形市:山形むらきさわビル1階)

対 象:高校生・学生・一般市民 50名

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:大学コンソーシアムやまがた事務局

(TEL)023-628-4842

○地域教育文化学部公開講座

『骨の健康~上手なカルシウム摂取のための知識と実験・調理実習~』

日 時:平成23年7月2日(土)、9日(土)、16日(土) 13:30~15:30

場 所:山形大学地域教育文化学部1号館(山形市、小白川キャンパス)

対 象:一般市民(中学生以上) 20名(先着順)

受講料:3,000円

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:山形大学小白川キャンパス事務部 地域教育文化学部事務室(総務担当)

(TEL)023-628-4304

○山形大学・宮城教育大学・福島大学「3大学合同進学説明会」(仙台会場)

日 時:平成23年7月3日(日) 13:00~16:00

場 所:仙台国際センター 3F 白樫(しらかし)(仙台市青葉区青葉山無番地)

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:山形大学エンrollment・マネジメント部政策課(EM担当)

(TEL)023-628-4063

○都市・地域学研究所「都市研カフェ」

日 時:~7月15日(金)17:00~19:00

場 所:ゆうキャンパス・ステーション(山形駅前、山形むらきさわビル1階)

定 員:一講座20名程度

参加料:一般 500円、高校生 無料(資料代+菓子代)

プログラム:

第3回 7月 8日(金)「ナスカの地上絵」

都市研所員 人文学部教授 坂井 正人

第4回 7月15日(金)「驚きの名画:美術史の楽しみ方」

人文学部教授 元木 幸一

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:山形大学人文学部事務室

(TEL) 023-628-4203

○高校生朗読コンクール「井上ひさしーいま、言葉を東北の灯に」

予 選:応募締切7月22日(金)消印有効

本 選:日 時)平成23年9月3日(土)13:00~17:00

場 所:シベールアリーナ(山形市蔵王松ヶ丘 2-1-3)

課 題:井上ひさし著「イソップ株式会社」

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:山形大学渉外部社会連携・図書・情報課 図書担当

(TEL) 023-628-4016

# 要素技術セミナー

(NPO法人Y-MOTネットワークセミナー)

新しいものづくりを一緒に考えてみませんか？

(金属と樹脂の射出成形、ナノレベル接合技術)

日時 平成23年 **7月13日** (水) 15.00~(開場14.30)

場所 山形大学工学部 **100周年記念会館** セミナーホール

定員 **50名** 参加費 **無料** (※名刺交換・懇親会は会費制)

第一部:「講演」 15.00~16.30

私が考えるものづくり

## 「ものの造り方をつくる！」

大成プラス株式会社 代表取締役社長

### 成富 正憲 氏

社員40名で年商30億円、社内増設は控え、技術のある会社と組んでやる方式。  
現在、群馬、静岡他の協力工場と連携。海外も台湾・韓国・中国・ヨーロッパ・カナダ  
等へライセンス供与や工場進出。山形大学・米沢地域への技術紹介と、パートナー探し。

・講師紹介 (非営利組織)日本スカラベイニシアテブ **渡邊 勝 氏**

第二部:「名刺交換・懇親会」 17.00~18.30

会費 ¥3,000円



モノをつくる仕事は否定して  
いたら何も出来ません。人が考  
え、造りたいと思っているもの、  
それが夢物語であって“可能  
性がある”“作れる”と思うこと  
から始めます。始めから無理だ  
と決め付けたら前に進みませ  
ん。お客様が絵を描いて来ら  
れたら、商品の半分は出来上  
がっている前提でお聞きます。  
作り方を造り出すのが我社の  
仕事です。  
《日刊工業新聞95周年記念  
式典:基調講演より》

大成プラスの技術、それは、非常識への挑戦から始まった！ (国内外で300件を超える特許出願)

金属と樹脂を強固に接合する一体成形技術で軽量化・低価格化を実現、携帯電話から自動車部品まで幅広い応用製品を生み出す！  
・NMT(ナノ・モールディング・テクノロジー)・・・金属表面を特殊処理、ナノレベルの微細な凹凸を形成、凸部に樹脂が入り強固な接合を生む。  
・NAT(ナノ・アドヘッション・テクノロジー)・・・NMTの金属表面処理技術を応用した、高強度接着技術。  
・多孔質技術・・・空気を通し、水・塵を通さない、独自技術により射出成形で作る多孔質プラスチックを開発。  
技術の詳細はホームページへ！ <http://www.taiseiplas.com> 産総研の解析で分子サイズでの接合証明、NEDOの助成金で技術確立。



100周年記念会館 守衛所

\* 駐車場に限りがありますので、相乗りで御願い致します

正門(山形大学工学部)

応用例紹介  
(NMT技術)

### 【MP3 Player】



SAMSUNG  
総生産台数:170万台

NMT工法による薄肉化・軽量化

従来工法 従来のプレス工法、AIダイカスト工法では、固体の薄肉化に  
限界があり、軽量化が図れない。

NMT工法 NMT成形で、取付けボス形状を樹脂成形することで、  
平面部の薄肉化に成功。軽量化効果が十分に得られた。

共催:米沢電機工業会 :米沢電子機器・機械工業振興協議会  
:山形大学国際事業化研究センター

後援:(社)米沢工業会

主催:(NPO)Y-MOTネットワーク

TEL:0238-40-0761 FAX:0238-40-0765

〒992-0039 米沢市門東町3-1-47 山形大学街中サテライト内

問い合わせ先・申し込み先

FAX: **0238-40-0765** TEL: 0238-40-0761

〒992-0039 米沢市門東町3丁目1番47号

山形大学工学部街中サテライト内

NPO法人Y-MOTネットワーク事務局 宛

**【参加申込書】** (どうぞ早目に御申し込み願います。)

申込締切日: 平成23年 **6月30日(木)**

ご所属(会社名)			
ご連絡先	〒		
電話番号		FAX番号	

ご氏名(ふりがな)		懇親会 (どちらかに○)	参加する・参加しない
-----------	--	-----------------	------------

ご氏名(ふりがな)		懇親会 (どちらかに○)	参加する・参加しない
-----------	--	-----------------	------------

ご氏名(ふりがな)		懇親会 (どちらかに○)	参加する・参加しない
-----------	--	-----------------	------------

ご氏名(ふりがな)		懇親会 (どちらかに○)	参加する・参加しない
-----------	--	-----------------	------------

ご氏名(ふりがな)		懇親会 (どちらかに○)	参加する・参加しない
-----------	--	-----------------	------------

# やまがた夜話

テーマ 山形の魅力再発見 **新山形学**～歴史編～

7月13日(水)

18:30~19:30

「最上義光と“北の関ヶ原”ー出羽合戦ー」

伊藤 清郎 氏 (山形大学地域教育文化学部・教授)

7月20日(水)

18:30~19:30

「変わりつつある庄内地域史研究  
～ワツパ騒動と山居倉庫～」

三原 容子 氏 (東北公益文科大学公益学部・教授)

7月27日(水)

18:30~19:30

「村山地方を中心とした特色ある民俗文化  
ー主に庄内地方との比較をつうじてー」

菊地 和博 氏 (東北文教大学短期大学部  
総合文化学科長・教授)

8月 3日(水)

18:30~19:30

『置賜地方の紀行文芸「中仙道中旅寝の夢」を読む  
～幕末米沢藩士が見た中仙道』

小林 文雄 氏 (米沢女子短期大学日本史学科・准教授)

会場 ゆうキャンパス・ステーション  
(山形むらきさわビル1階)

アクセス 山形駅東口より徒歩1分。

主催 大学コンソーシアムやまがた

お申込 電話又は、チラシ裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX、郵送、メール等で下記宛お申し込みください。

対象 高校生・学生・一般市民

入場無料 定員:50名



お申込み・お問合せ



大学コンソーシアムやまがた  
ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階  
TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820  
E-mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

～スマイル・トレード10%支援～



# やまがた夜話

山形学～歴史編～

## 参加申込書

必要事項を明記の上、下記宛 FAX・郵送または E-mail にてお申し込み下さい。  
みなさんのご参加をお待ちしております。

申込締切日：それぞれの夜話前日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加日を○で囲んでください。
	平成23年 7月 13日(水) 講師：伊藤 清郎 氏
	平成23年 7月 20日(水) 講師：三原 容子 氏
	平成23年 7月 27日(水) 講師：菊地 和博 氏
平成23年 8月 3日(水) 講師：小林 文雄 氏	
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	学生の方は学校名を記入

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。  
この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に  
使用するとともに、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

お申込み・お問合せ先



大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション  
〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階  
TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

# 小さな科学者 体験学習会

主催:山形大学理学部  
後援:山形市教育委員会

## 7/24 光の不思議 (日)

参加費 無料!

時間 13:30~15:30

場所 山形県産業科学館4F発明工房  
(山形駅西口霞城セントラルビル内)

対象 小学4年生~中学生 20名  
およびその保護者

光の  
不思議な  
性質を  
体験して  
みませんか?  
簡単な工作  
もあります

## 7/31 親子で体験! バイオロジー・9 (日)

参加費 無料!

時間 13:00~16:00

場所 <sup>サイタ</sup>山形大学SCITAセンター  
(山形大学小川白川キャンパス 理学部内)

対象 小学5年生~中学生 20名  
およびその保護者

今回は  
実顕顕微鏡と  
電子顕微鏡を  
使って  
身の回りの  
生き物を  
観察します

## 8/6 わくわく化学 実験ランド (土)

参加費 無料!

時間 10:00~12:00

場所 <sup>サイタ</sup>山形大学SCITAセンター  
(山形大学小川白川キャンパス 理学部内)

対象 小学4年生以上とその保護者  
親子10組

振ると  
色が変わる  
不思議な  
ボトルなど  
すごい  
化学反応を  
体験しよう!

## 8/6 七夕に望遠鏡を 作って月を観よう (土)

参加費 500円

時間 18:00~20:30

場所 山形県産業科学館4F発明工房  
(山形駅西口霞城セントラルビル内)

対象 小学4年生~中学生 20名  
およびその保護者

ガリレオ  
のように  
望遠鏡を  
作ってみよう!  
月面クレーター  
にビックリ!

NPO法人小さな天文学者の会との共同事業です。

お申込締切

平成23年  
7月20日(水)  
必着

光の不思議のみ  
7月13日(水)締切!

お申込方法

裏面の「参加申込書」等  
よりお申し込みください。

小さな科学者・体験学習会は、演示実験や簡単な体験型の  
実験を通して、子どもたちに科学のおもしろさ・楽しさに触れて  
もらおうと企画したものです。  
夏休みに親子で楽しくサイエンスに触れてみませんか?

2011年度  
山形大学理学部  
地域貢献事業

SCITA  
Faculty of Science  
Yamagata University

# 小さな科学者体験学習会 参加申込書

この申込用紙に必要事項をご記入の上、ファックスでお申し込みください。

FAX. 023-628-4510

平成 年 月 日

●希望する講座(○を付けてください。) ※ 複数の講座のお申し込みも可能です。

- 7/24(日) 光の不思議
- 7/31(日) 親子で体験! バイオロジー・9
- 8/ 6(土) わくわく化学実験ランド
- 8/ 6(土) 七夕に望遠鏡を作って月を観よう

●おなまえ(ふりがな)

●年齢

男性 女性

歳

●ご住所 〒

●TEL

●FAX

●メールアドレス

●学校名

●学年

学年

●同伴する保護者のお名前(ふりがな)

●年齢

男性 女性

歳

(保護者の方にも保険に加入していただくため、記入をお願いします)

※ 参加申込み時にいただきました個人情報、本件に関する準備・連絡以外には使用いたしません。

● ファックスをお持ちでない場合は、ハガキに参加申込書と同じ項目をご記入の上、下記申込先までお送りください。

① 申込締切：平成23年7月20日(水)必着(光の不思議は7月13(水)必着)

② 参加者の決定方法：お申し込みが多数の場合は、抽選になります。

残念ながら定員を上回ったため参加いただけない場合は、別途その旨をお知らせいたします。

●  
**<お申し込み先>**  
**山形大学小白川キャンパス**  
**理学部事務室**

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12  
 TEL(FAX) 023-628-4505(4510)



# 「進学相談会」開催!!

高校生、保護者の方を対象に、県内の高等教育機関による個別進学相談会を開催いたします。ぜひ、この機会に会場へ足を運んで、進学の疑問を解決しませんか。お待ちしております。

6月16日(木) 15:00~18:00	山形県立農業大学校
6月20日(月) 16:30~18:00	羽陽学園短期大学
6月21日(火) 15:00~18:00	山形工科短期大学校
6月21日(火) 16:30~18:00	羽陽学園短期大学
6月24日(金) 15:00~17:30	山形工科短期大学校
6月26日(日) 10:00~14:00	山形県立産業技術短期大学校
6月28日(火) 16:00~18:00	山形大学
6月29日(水) 16:00~18:00	山形大学
6月30日(木) 16:00~18:00	山形大学
7月 3日(日) 10:00~15:00	山形県立保健医療大学
7月10日(日) 10:00~15:00	山形県立保健医療大学
7月13日(水) 16:00~18:00	東北公益文科大学
7月14日(木) 16:00~18:00	東北公益文科大学
7月19日(火) 16:00~18:00	東北文教大学／短期大学部
7月20日(水) 16:00~18:00	東北文教大学／短期大学部
7月21日(木) 15:00~18:00	東北芸術工科大学
7月21日(木) 16:00~18:00	東北文教大学／短期大学部
7月22日(金) 15:00~18:00	東北芸術工科大学

## ■ 会場

### ゆうキャンパス・ステーション

山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

(山形駅東口から徒歩1分)

駐車場: 近隣の駐車場をご利用ください。(利用者負担)

## ■ お問い合わせ

大学コンソーシアムやまがた (担当 西田)

電話: 023-628-4842

E-mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



# やまがた夜話

テーマ

女性研究者が語る「元気な山形の未来」

6月1日(水)

18:30~19:30

「女性の経験から学ぶ

～山形大学ウーマン・オブ・ヤマガタの試み～」

木村 松子氏 (山形大学男女共同参画推進室・准教授)

6月8日(水)

18:30~19:30

「元気な山形づくり

～保健・医療・福祉がつなぐ、まち・人・地域～」

丹野 克子氏 (山形県立保健医療大学理学療法学科・講師)

6月22日(水)

18:30~19:30

「女性の視点からみた、元気なまちづくり」

早野 由美恵氏 (東北芸術工科大学  
プロダクトデザイン学科・准教授)

6月29日(水)

18:30~19:30

「紅花から元気な山形を」(仮題)

平松 緑氏 (東北公益文科大学公益学科・教授)

会場 ゆうキャンパス・ステーション  
(山形むらきさわビル1階)

アクセス 山形駅東口より徒歩1分。

主催 大学コンソーシアムやまがた

お申込 電話又は、チラシ裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX、郵送、メール等で下記宛お申し込みください。

対象 高校生・学生・一般市民

入場無料 定員:50名



お申込み・お問合せ



大学コンソーシアムやまがた  
ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階  
TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820  
E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

～スマイル・トレード10%支援～



# やまがた夜話

～女性研究者が語る「元気な山形の未来」～

## 参加申込書

必要事項を明記の上、下記宛 FAX・郵送または E-mail にてお申し込み下さい。  
みなさんのご参加をお待ちしております。

申込締切日：それぞれの夜話前日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加日を○で囲んでください。
	平成23年 6月 1日(水) 講師：木村 松子 氏
	平成23年 6月 8日(水) 講師：丹野 克子 氏
	平成23年 6月 22日(水) 講師：早野 由美恵 氏
平成23年 6月 29日(水) 講師：平松 緑 氏	
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	学生の方は学校名を記入

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。  
この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に  
使用するとともに、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

お申込み・お問合せ先

 大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

# 平成23年度 山形大学公開講座(地域教育文化学部) 受講者募集

山形大学地域教育文化学部では、公開講座の受講者を募集しております。

受講を希望される方は、下記までお知らせください。

# 骨の健康

## 上手なカルシウム摂取のための知識と実験・調理実習

日時 平成23年  
7月 2日(土).....第1回  
9日(土).....第2回  
16日(土).....第3回  
(各日とも、13:30~15:30)

受講対象 一般市民(中学生以上)

定員 20名(先着順)

場所 山形大学地域教育文化学部1号館  
(山形市小白川キャンパス)

受講料 3,000円

**講座の概要** 加齢に伴い骨密度は減少するため、高齢者にとってカルシウムを積極的に摂取することは、骨密度を増加させ、健康な生活を過ごすための第一歩です。また、スポーツクラブや部活動などでの運動は、骨代謝によいと言われています。しかしながら、何となくよいというイメージだけが先行し、「本当はどうなのか?」とよく理解されていないことが多いようです。

本講座では、以下の内容での講義及び実習を行います。

### 第1回

カルシウム代謝の基礎知識(講義)を理解した上で、食品中カルシウム濃度を実際に自ら測定(実験)して、日常の何気ない食生活で口にしている食材中のカルシウム含量に関する知識を身につけます。

**担当** 山形大学地域教育文化学部准教授  
小酒井貴晴  
山形大学地域教育文化学部講師  
楠本 健二

### 第2回

実際に自らの骨密度を実測することで自分の骨の健康度を理解(実測)した上で、カルシウム強化料理のコツ、特に高齢者であっても食べやすい調理法を自ら調理しながら、体験学習します。

**担当** 山形大学地域教育文化学部准教授  
大森 桂  
山形大学地域教育文化学部講師  
三原 法子

### 第3回

スポーツクラブや部活動などの運動時でのカルシウム摂取(講義)を理解した上で、手軽かつ上手にカルシウム摂取しやすい調理の工夫やテクニックを、自ら実際に調理しながら習得します。

**担当** 山形大学地域教育文化学部助教  
矢口 友里  
山形大学地域教育文化学部助教  
山岸あづみ

申込方法・申込期間：平成23年6月24日(金)締切 下記宛にお電話ください。

山形大学 小白川キャンパス事務部 地域教育文化学部 事務室(総務担当)

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

Tel:023-628-4304 Fax:023-628-4313 e-mail: kyosoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

がんばろう！東北  
がんばろう！日本

東日本大震災において、被災されたみなさまへ  
心よりお見舞い申し上げます。  
続く余震に不安な日々を過ごされる被災地のみなさまの安全と、  
一日も早い復興をお祈り申し上げます。

東北地区 国立大学

宮城教育大学

福島大学

山形大学

# 3大学合同 進学説明会



東北から新しい日本を創造する。今、この地で学び、共に未来を切り拓こう！

### POINT 01

「学生相談コーナー」  
を設けます。

各大学の在学生在がみなさまの  
悩みについて学生の視点で  
お答えします。

### POINT 02

各大学の資料を  
多数取り揃えて  
おります。

### POINT 03

センター試験の  
英語で使用する  
リスニング機器を  
体験できます。

平成23年 **7/3** 日 時間 13:00~16:00

仙台国際センター 3F 白櫃

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地

自家用車でお越しの方

有料地下駐車場をご利用いただけますが、数に限りがございますので、できるだけ公共の交通機関(仙台市営バスなど)をご利用ください。

仙台駅よりバスでお越しの方

▶乗車…仙台駅西口バスプール9番のりばより「宮教大・青葉台」、「宮教大・成田山」、「宮教大」、「動物公園循環(青葉通・工学部経由)」、「交通公園・川内営業所」のいずれかにお乗りください。

▶下車…「博物館・国際センター前」でお降りください。



### ■【会場1】:「白櫃」内

「大学説明会」 13:00~15:35

(第一部) ① 13:00~13:25 宮城教育大学

② 13:25~13:50 福島大学

③ 13:50~14:15 山形大学

(第二部) ④ 14:20~14:45 宮城教育大学

⑤ 14:45~15:10 福島大学

⑥ 15:10~15:35 山形大学

※第一部と第二部は同一内容です。

### ■【会場2】:「白櫃」内

「個別相談会」 13:00~16:00

高等学校等の先生方、保護者のみなさまのご来場も歓迎いたします。近隣のみなさまは是非ともご来場し、3大学の情報や資料を入手してください。

詳しくは各大学ホームページをご覧ください。

◎宮城教育大学 <http://www1.miyakyo-u.ac.jp/> ◎福島大学 <http://www.fukushima-u.ac.jp/> ◎山形大学 <http://www.yamagata-u.ac.jp/index-j.html>

お問い合わせ先: 山形大学エンrollment・マネジメント部政策課(EM担当)  
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 TEL: 023-628-4063  
FAX: 023-628-4185 e-mail: [enroll@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:enroll@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

「事前申込」いただいた方に  
オリジナルグッズ等をプレゼントします。事前申込はコチラ  
<http://daigakujc.jp/3goudou-sendai/>



当日の  
参加も  
大歓迎!

リサイクル選性  
この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

公開講座



# 都市研カフェ

山形大学都市・地域学研究所の一流教授陣が、高校生と市民を学問の世界に誘う、紅茶とお菓子付きの楽しい講座です。新しい知の世界に接する絶好のチャンス！

場 所： ゆうキャンパス・ステーション（山形駅前、十字屋向かい大学コンプレックス）

時 間： 17:00～19:00

申込〆切： 6月3日（金）17:00

定 員： 一講座20名程度

資料代+菓子代： 一般 500円 高校生 無料



## 内 容

第1回 6月 10日（金）「ジブリ作品と宗教学」 都市研所長 人文学部教授 松尾 剛次

第2回 6月 17日（金）「持続可能社会のためのエネルギー」

都市研所員 理学部教授 栗山 恭直

第3回 7月 8日（金）「ナスカの地上絵」 都市研所員 人文学部教授 坂井 正人

第4回 7月 15日（金）「驚きの名画：美術史の楽しみ方」 人文学部教授 元木 幸一

## 問い合わせ先

山形大学人文学部松尾研究室 又は山形大学人文学部総務課

TEL・FAX 023-628-4917 TEL 023-628-4203

メールアドレス：kmatsumo@human.kj.yamagata-u.ac.jp

主催：山形大学都市・地域学研究所

山形大学特別プロジェクト 井上ひさしの東北

## 第四回山形大学高校生朗読コンクール

井上ひさしー いま、言葉を東北の灯に

# 出場者募集

主催) 国立大学法人 山形大学 共催) 公益財団法人 弦地域文化支援財団

【課題】 井上ひさし著 「イソップ株式会社」

【予選】 応募締切7月22日(金) 消印有効 (応募要項は裏面)

【本選】 日時) 平成23年9月3日(土) 13:00~17:00

会場) シベールアリーナ (〒990-2338 山形市 蔵王松ヶ丘二丁目1番3号)

山形大学は、9月3日(土)に弦地域文化支援財団と共催で、第四回高校生朗読コンクール「井上ひさしー いま、言葉を東北の灯に」を開催いたします。

高校生朗読コンクールも今年で四回目となりました。山形大学は「地域に根ざし、世界をめざす」をミッションとして、山形の地域の文化の活性化を目指してまいりました。平成19年度から特別プロジェクトとして「藤沢周平の山形」を3年計画で展開し、山形県出身の藤沢周平を通して「東北のこころ」を探りました。また、そのプロジェクトの一環として、高校生朗読コンクールを平成20、21年と開催、多数の応募をいただきました。藤沢周平プロジェクトは平成21年度で終了しましたが、平成22年度は、やはり山形県出身の作家井上ひさし氏の作品に焦点をあて、「東北のことばとこころ」をテーマとした朗読コンクールを開催いたしました。

そして今年度より、新たに

「特別プロジェクト井上ひさしの東北」をスタート、その一環として、第四回高校生朗読コンクールを開催いたします。

昨年惜しまれながら世を去った作家・劇作家井上ひさし氏は、東北を舞台にした作品を数多く執筆され、さまざまな活動を東北の地を舞台に行われ、遅筆堂文庫として本県に多数の蔵書を寄贈されるなど、山形そして東北をこよなく愛し、日本の、そして世界の中の東北のあり方を常に世に問い続けられました。

東北地方は現在未曾有の困難に直面しています。そして、今後進むべき方向は未だ明確にはなっていません。本プロジェクトは井上氏の膨大な作品群や偉大な活動をさまざまな形で振り返り、そこに込められた東北地方への思いを明らかにし、そこから東北地方に生きていく私たちの歩みを照らす指針を得たい、そんな思いをもってスタートしたいと考えております。

## 第四回山形大学高校生朗読コンクール 井上ひさしーいま、言葉を東北の灯に

### ◎予選募集要項

応募資格:東北地方在住の高校生。または、東北地方の高校に在学する高校生。

高等専門学校生は一年から三年までのみとさせていただきます。また同一高校からの応募人数制限は設けません。

予選課題:「インソップ株式会社」(以下の頁数は、中公文庫2008年発行の初版にもとづく)

80 頁最終行「今日の父のお話には」より

83 頁10 行目「教訓。ものは大切に。」まで

審査方法:テープ審査。

応募方法:上記課題を朗読録音し、下記応募受付まで送付をお願いします。

録音メディアは、MD/CD-R のいずれかとし、各メディアにも必ず氏名を明記してください。

応募締切:平成23年7月22 日(金)(当日消印有効)

○郵送の場合には封筒表面に「高校生朗読コンクール応募」と朱書してください。

○応募の際、以下の項目について記したものを同封してください。書式は自由です。

1)氏名(よみがな) 2) 性別 3) 学校名、学年 4) 自宅住所 5) 自宅電話番号

6) 携帯電話番号 7)メールアドレス

6)7)については記入しなくてもかまいません。情報については本学からの連絡のみに用い、他用途に転用することはありません。

○予選の録音メディアの費用及び郵送料は自己負担とします。

○予選で大学に送付されたメディアは返却せず、本選後録音を消去いたします。

○予選は学内の教職員で構成した審査委員会が審査を行い、結果は全応募者に8月上旬に御自宅に郵送で通知いたします(学校でとりまとめて応募いただいた場合は、学校にも結果を通知いたします)。

○予選通過者を優秀賞として表彰し本選に招待します。なお、予選通過者名は公表いたします。

○朗読の録音に伴う著作権の手続きは山形大学が一括して処理いたします。

○予選通過者は、全員本選への出場をお願いしますが、日程上、出場できない場合はご相談ください。

### ◎本選について

日時: 平成23 年9月3日(土)13:30 ~ 17:00

会場: シベールアリーナ

課題: インソップ株式会社より予選通過者それぞれに異なる部分を審査委員会が指定します。

○審査結果通知時にそれぞれの課題部分を指定します。

○作品の内容や量による審査の有利不利は起きないように審査の際に配慮します。

○文章中の地名や人名等の固有名詞の難読語に限り相談を受け付けますので、お問い合わせください。

○本選は、学内外のメンバーで構成した審査委員会が審査を行います。

○本選の上位3名を山形大学学長賞として表彰します。他に特別賞、会場賞も設ける予定です。各賞には賞状・記念品を贈呈します。

○本選は一般に公開します。一般の方の聴講受付は7月ごろ開始します(新聞等のメディアで告知します)。

応募・お問合わせ先:

山形大学渉外部社会連携・図書・情報課図書担当

〒 990-8560 山形市小白川町1-4-12 TEL 023-628-4016 FAX 023-628-4849

E-mail [k-tojyoki@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:k-tojyoki@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)